

わたしの初夢

昨年、「私もひと言」への寄稿を依頼されたこともあり、私なりに年頭に当たって思いを巡らせてみました。

まず昨年オープンした「道の駅」についてですが、2年後の東北中央自動車道（相馬～米沢間）の開通により、相馬、米沢の自治体等との広域連携をキーワードに、観光とも絡めた「道の駅」を、今後ますます充実させていくことが、これからの課題のひとつになるかと思えます。

また、公立藤田総合病院の医師不足対策には、高額な予算措置が必要になりますが、給付型の修学・奨学金の創設が図られれば、医師になったときに当病院でその力をいかに発揮してもらえらること

から、産科、婦人科などの診療充実をお願いしたいところであります。

私も、サラリーマンから家業である農業を継いでまもなく丸3年になりますが、農家の高齢化の進行と後継者不足の現状の中、リスクを意識しつつ、集落営農の組織化による農業生産基盤の維持を図りながら、新たな農作物の生産や6次化商品の開発など、他の生産地との差別化を図っていかねばならないと思っています。

若者や子どもたちが「夢や希望」をもって、若いお母さんたちが安心して子どもを産み育てることができ、働く世代のお父さんたち、お年寄りの方々が充実した毎日を過ごせる国見町を創っていくことが、今日まで国見町を創り上げてくれた先輩方から、これから国見町の未来を担う若者子どもたちにつなげる役目の私たち世代に課せられた使命でもあると、気持ちを新たにしたいところであります。



小林聖治さん
(原町町内会)

農業などの先端技術を学ぶ

議員視察研修
(名古屋方面)



なかなか入れない株デンソーの農業機器の実証施設を見学しました

11月13日から14日の2日間、愛知県名古屋近郊で、農業やものづくりの先端技術について視察研修を行いました。福島県名古屋事務所長および職員のご案内により、先進的な企業で説明を受けました。(詳細は12ページをご覧ください。)

明けましておめでとございます。

そして成人式を迎えた95人の皆様、誠におめでとうございます。希望に満ちた前途にエールを送ります。

さて、東日本大震災から間もなく7年が経過しようとしています。

昨年は待望の道の駅「国見あつかしの郷」がオープンしにぎわいを見せています。復興のひとつの区切りと言えるでしょう。

しかしながら町の振興、少子高齢化問題は今後とも大きな課題です。生まれ育ち、住んでよかったと言える国見町を目指し、議会も新しい年を迎えて改めて気が引きしまる思いです。

今年もよろしくお願いいたします。(井砂 善榮)

編集後記

発行責任者

議長 東海林一樹

広報常任委員会

委員長 松浦 和子

副委員長 村上 正勝

委員 東海林一樹

委員 八島 博正

委員 佐藤 定男

委員 井砂 善榮

